

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-011

PDCA	事務事業名	岩滑公民館改築等事業	部課等名	教育部生涯学習課 生涯学習担当	担当	鈴木	
					内線等	23-7341	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 2. 公民館活動 単位施策： (2) 生涯学習施設としての機能充実 個別施策： ②施設改善と整備					
	根拠法令等	社会教育法、半田市立公民館条例、半田市立公民館条例施行規則					
	対象・目的	地域の生涯学習活動・地域活動の拠点となる地区公民館を、市民が安全かつ快適に利用できるよう、老朽化が進んだ岩滑公民館について改築により環境整備を行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	地域の生涯学習活動、地域活動の拠点であることから、地域にとって親しみがあり、使いやすい施設としていくため、岩滑区をはじめとした地域住民の意見や要望を聞きながら改築を行っていく。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①地元との調整会義	—	—	8	回	
		事業費	—	—	22,198	千円	
		人件費	—	—	2,777	千円	
		総事業費	—	—	24,975	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①住民の意見を聴取しながら実施設計を完了する。	実績値	—	—	—	
			目標値	—	—	—	
			実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		岩滑公民館を主に利用する地元の方の意見を反映させるため、岩滑区の代表者、岩滑公民館の職員の他、実際にこれまで同公民館を利用してきた団体等と設計業者を交え、公民館の将来像等について何度も意見を交換し、最終的には利用形態にあった形の実施設計を完成させることができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		令和2年度に完成した実施設計をもとに令和3年度、令和4年度で現公民館の解体工事や新公民館の建設工事を行うが、新公民館の管理運営等について、地元の方たちと方向性を見出していく。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値			単位	
		①安心・安全に利用できる新しい建物を予定通り建設する。					